

CASBEE® 広島

(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	安佐南工場焼却施設	階数	地上6F、地下1F
建設地	広島市安佐南区沼田町大字伴字赤迫3990 他18筆	構造	S造
用途地域	指定無し	平均居住人員	325 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年8月 予定	評価の実施日	2010年6月8日
敷地面積	37,888 m ²	作成者	宮岡 十里
建築面積	8,079 m ²	確認日	
延床面積	20,277 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.1 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

環境品質 Q

環境負荷 L

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

参照値 100%

評価対象 86%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.9

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 4.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.7

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.0	スコア = 2.8	スコア = 3.6
<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>外部に面する居室の外壁内側に断熱材を設け、窓は複層ガラスとしている / 採光型太陽光パネルの利用 / 太陽光発電設備と風力発電設備の利用 / パッケージエアコンや給水ポンプにインバータ機器を採用 / 高効率照明器具、LED照明器具の採用 / BMS(ビルマネジメントシステム)導入による設備機器の制御、遠隔監視により効率的な運用を計画 / 雨水・再利用水の積極的な利用 / 高炉スラグ骨材の採用 / グリーン調達品目の採用</p>	<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>緑地面積26%達成、壁面緑化・屋上緑化をそれぞれ100m²確保 / 駐車場及び駐輪場を利用人員を考慮し適切に配置</p>	<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>腐食が懸念される系統のダクトには塩ビライニングダクトを使用 / 耐震性については建築基準法に定められた20%以上を有する。/ ビルエアコンを出来る限り使用せず、パッケージエアコンにて計画し更新性を配慮 / 可能な限り特注品を避け、既製品にて計画</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される